

ヤマザクラ

2015 年（平成 27 年）1 月 20 日（火）発行

新年にあたって

理事長 松崎和敬

明けましておめでとうございます

昨年の本会の活動状況について振り返って見ますと、全体としては例年どおりの活動を無事故で展開することができました。

課題となっている森林整備班の増強については今年に持ち越しとなりましたが、活動自体は団体会員等の協力もあり計画どおり取進めることができました。

○今年はろうきん森の学校事業が第 2 期の 11 年目に入るようになったことに伴い、いろいろな取り組みが必要になってきました。

2 月 12 日に東京で「ろうきん森の学校 10 周年記念シンポジウム」が開催されることを受けて 3 月上旬にいわき市労働福祉会館に於いて関係者に集まっていただき、福島地区の 10 年間の報告と 11 年以降の活動方針について説明し、話し合う場を設けることにしており、そのための諸作業があります。

ろうきん森の学校では「森を育む」「人を育む」「森で遊ぶ」を活動の柱として事業を展開し「森づくり」から始まる「人づくり・地域づくり」につなげる環境教育事業へと発展させていくことを基本としております。

具体的には、ろうきん森の学校は、「緑」「健康の維持」「地球環境保全」の 3 つのキーワードと 6 項目の基本方針に基づいて取組みを行っていくことにしています。

〔3 つのキーワード〕

- 厳しい環境の中で働く勤労者等に精神的な安らぎを与える「緑」
- 身体を動かす喜びと「健康の維持」
- 「地域環境保全」への共感と参画

〔6 項目の基本方針〕

- 「地球温暖化防止」に対して足元から取組みます
- 地域の多様な自然を取り戻します
- 里山を活かした暮らしの提案・発信します
- 森づくりから始める人づくりを行います
- 地域全体で活動して取組みます
- 自律した運営を目指します

ろうきん森の学校の第 1 期は、会の基盤整備の確立に重点をおいた活動を中心としてきましたが、今年から始まる第 2 期においては、ろうきん森の学校の基本理念の実現にむけて、会員の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っております。

○また、6 月 12 日～14 日には「森林と市民を結ぶ全国の集い in 福島」（全国の森林ボランティア団体による組織である森づくりフォーラムが主催）が福島県で開催されることになっておりますが、諸般の事情から本会がうつくしま 21 森ネットワークのメンバーとして実行委員会事務局を担当することになり、昨年 11 月から取組んでおります。

全国の集いをなんとか成功させるべく取り組んでおりますが、ここでの取組みが本会の活動に充分反映できるようにもっていきたいと考えております。

○3 年前から取組んでいるプロ野球の森の整備については 6 月迄に一応の目途をつけることが必要になっておりますが、これについては多くの市民の意見を反映したものにしていきたいと考えております。

4年目に入った海岸林再生整備事業の基盤作りをはじめいままでの事業内容の充実化に加えて、今年から主として一般市民を対象とした観察会班の活動を一層活発化させていきたいと思っております。

今年も「安全第一に楽しく」をモットーに、それぞれが健康に留意しながら活動して行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします

森林整備班の活動

桑原敏和

森林整備班の活動一覧表

(H26.10.29~H27.1.14)

月//日	曜	実施事項	人数
10/29	水	21世紀の森・山火事跡地の整備	6
11/5	水	〃	5
11/15	土	〃	5
11/19	水	〃	4
11/26	水	〃	4
12/3	水	21世紀の森育樹祭準備作業	5
12/10	水	炭窯(大)窯出し	5
12/17	水	炭窯(大)窯入れ	4
1/7	水	炭窯(小)、炭窯小屋・屋根張替	3
1/14	水	チップ受入試験運転	3
活動10日		森林整備班参加延人数	44



21 森育樹祭準備で(植樹箇所のマーキング他)



植樹箇所のマーキング作業

今回の森林整備班の活動は、21世紀の森の山火事跡地の整備を主におこないました。

これは、12月6日(土)に開催される「21世紀森育樹祭」の準備と、これまで植樹したカエデやオオヤマサクラ等の手入れと観察歩道の補修なども兼ねた下刈りや草刈を実施しました。

目次 (主な内容)	P
新年にあたって	1
森林整備班の活動	2
プロ野球の森の整備	
ひまわり信金のみなさんお世話になりました	
21世紀の森育樹祭	
海岸林の再生整備について	4
キノコ栽培	4
木工クラフト班の活動	5
竹細工教室の開催	5
農作業の活動報告	6
畑作業・戸渡農作業・好間冬水田んぼ	
プログラム勉強会グループ活動	7
いわき市立小学校学習支援活動	
その他の支援活動	
ろうきん森の学校	8
湯ノ岳山荘の一部リフォーム	10
海岸防災林シンポジウム	11
「森林づくり活動ワークショップ」	12
ふくしま被災地まち物語7DAYS	12

プロ野球の森整備について

1. 日時 平成 27 年 1 月 17 日 (土) (晴)
9 : 00 ~ 14 : 00

2. 整備内容

(1) プロ野球の森のフィールドを視察しながら今後の整備内容を検討しました

(2) モウソウ竹の除去と新しく導入したチップパーによる竹の処理を実施しました

3. 参加者 本会 15 名、竹プロジェクト 8 名

4. 実施内容

(1) 観察コースのルート選定のため従来の観察コースを中心に踏査した。今後の整備内容については、参加者の意見等をまとめて決定し整備をすすめることとします。



観察コースでのミーティング

(2) モウソウ竹の除去として、午前中は竹プロジェクトの方々が伐倒作業を実施されました。本会では午後モウソウ竹の伐倒と新規に導入したチップパーによる試験運転を兼ねモウソウ竹の処理を実施しました。



新規チップパーでのモウソウ竹の処理

新規導入チップパー

製造：(株)カルイ

性能(特徴)

1. 樹木・竹共粉碎できます。
2. 最大粉碎径は 130mm です。
3. 自走式です。

ひまわり信金のみなさん

お世話になりました

ひまわり信用金庫の職員の皆さんと東京等の信用金庫の仲間達一行 55 名が、ボランティア活動の一つとして 11 月 20 日午前中湯ノ岳の中腹にある公園において花の植栽作業を行った後に湯ノ岳山荘に来ていただき、湯ノ岳山荘の周辺の森の草刈作業を行ってくれました。

震災以降十分に手が廻らず一部はヤブ化していたところ約 0.4ha を刈払機や鎌などで約 3 時間強にわたり整備してもらいました。12 月中旬に小学生の 2 泊 3 日のキャンプを予定していたため、どう対応すべきか頭を痛めておりましたので本当に助かりました。(松崎和敬)

草刈り作業スナップ



ヤブを手鎌で刈るボランティアのみなさん



広い斜面の草刈り作業



すっかり綺麗になっている山荘の裏山

21 世紀の森育樹祭

1.日 時 平成 26 年 12 月 6 日 (土) 晴

9 : 00 ~ 12 : 00

2.場 所 21 世紀の森 (山火事跡地)

3.参加者 90 名

4.実施内容

(1)これまで植樹した場所の下刈り作業

(2)植樹作業 (苗木は鳥取県で育てた苗木他)

5.実施結果について

(1)中学生以下 32 名を 3 班編成、自然観察会を開催その後植樹及び育樹作業を実施しました。

(2)大人の方々には、これまで植樹した箇所の補植と下刈りを主に実施しました。

(3)植樹の樹種本数

クヌギ×50 本、カエデ×30 本、山桜×20 本



植樹作業スナップ (カエデ、ヤマザクラ、クヌギを植)

海岸林の再生整備について

松崎和敬

NPO 法人トチギ環境未来基地と協働で取り組んでいる「苗木 for いわき」プロジェクトについては県外の多くのボランティアの方々の参加により順調に推移していますが、いわき市内ボランティアの参加者が少なく、今後どうすべきか課題となっております。

海岸林の被災状況は地盤沈下等による地下水位の関係から根腐れ、津波被害の塩害等により、枯損木が年々増加、国有林面積の 1/2 以上に拡大しており、今後も続きそうな状況にあります。

2012 年 6 月から 2014 年 12 月までの参加者は次の通りです。

	本会員 (含トチギ)	ボランティア (含小中学生)	その他	計
2012 6 月 ~ 12 月	61	144	7	212
2013 1 月 ~ 12 月	229	981	17	1,227
2014 1 月 ~ 12 月	254	1017	33	1,304
計	544	2142	57	2,743

キノコ栽培

荒川、松本、松崎

昨年もパイプハウス内で、マイタケ、ハタケシメジ、ヒラタケ、ナメコの菌床栽培を行いました (マイタケは原木)

昨年は天然のキノコも天候の関係からは例年になく不作でしたが、湯ノ岳の発生状況も不成績な結果となりました。

天然のキノコと同じような環境で栽培しているので当然の結果なのですが、ここ数年の天候状況の変化からキノコの発生に多くの影響を与えているようです。

天然のナラダケモドキは例年 7 月下旬 ~ 8 月中旬発生なのですが、昨年は 6 月下旬から 7 月上旬の発生となりました。

昨年の収穫数量は次の通りです。

	マイタケ	ハタケシメジ	ヒラタケ	ナメコ	計
収穫期間 (一昨年)	9/20 ~ 11/3 (10/2 ~ 10/23)	9/11 ~ 11/27 (10/4 ~ 11/2)	9/26 ~ 10/23 (10/29 ~ 12/25)	10/2 ~ 12/27 (10/2 ~ 12/27)	— —
収穫量 (一昨年)	18.8Kg (21.7Kg)	14.2Kg (10.9kg)	11.6kg (32.5kg)	28.0kg (38.1kg)	72.6kg (103.2kg)

木工クラフト班の活動

桑原敏和

木工クラフト班活動一覧表 (10/21~12/16)

I グループ (定例日の活動)

No	月/日	曜	木工クラフト 実施事項	参加人数
1	10/21	火	竹細工 孫の手・菜箸	12
2	11/4	火	縁台 杉材カンナ掛・真竹取	12
3	11/18	火	縁台作成 (上部竹製) 竹割、杉角材加工	12
4	12/2	火	縁台作成 (上部竹製) 組立	11
5	12/16	火	門松作り	11
活動5日			参加延人数	58

II グループ (第3日曜ろうきん森の学校後に実施)

No	月/日	曜	木工クラフト 実施事項	参加人数
1	10/19	日	ナプキン立て3人 靴べら1人、ナイフ1人	5
2	11/16	日	竹製へら2人 バターナイフ1人	3
3	12/21	日	門松作り	11
活動3日			参加延人数	18

「木工クラフト作りスナップ」



門松上手に出来ましたね

竹細工教室の開催

佐藤行年

1. 場所 湯の岳山荘
2. 日時 第1回 平成26年10月25日(土)
第2回 平成26年10月29日(土)
午前9時~12時
3. 受講者
第1回:15名、第2回:15名 合計30名
(申込40名) (申込18名)
4. 受講者条件; カッターナイフ、のこぎりを使える人とした
5. 会費 ¥500円 (保険料金・材料費)
6. 実施内容
作ってみよう「バランストンボ」をとし一般募集したところ、予想以上の申し込みがありました。
遠いところは会津若松市、三春、北茨城市からの申し込みがありました。
・目的は「道具などを使って創る喜び」を体験してもらう。
竹を使い「バランストンボを作りバランスの不思議を知ってもらうことです。」
参加者は、皆さん真剣に上手に羽根や胴体を形よく出来ていました。
バランストンボが出来た人から止まり木を作っていたいただきその止まり木に止まらせてバランストンボがゆらゆら揺れる姿に満足していました。
また1人も怪我なく2回とも無事に終えたことが何よりの喜びです。



竹細工教室



農作業 2014 年の活動報告

(収穫の秋から冬にかけて) 太田 満

畑作業

1. 籾殻の運搬と畑へ搬入

12月始めから、年末恒例の籾殻運搬を行い軽トラ 12 台分の籾殻を畑へ運びました。

そして、畑に籾殻を入れて、耕運機で耕しています。



籾殻を畑へ運搬作業

年明けの 2 月には、落葉を集めて（落葉かき）、温床作りを始める予定。

2. 種蒔きや収穫などの作業

9 月から 12 月にかけて、いろいろな野菜の収穫作業を行いました。

さつま芋は畑がイノシシに荒らされたため、全体の約 1/2 が損失になりました。

里芋の畑も荒らされて、収穫量が落ちたものの、なんとか収穫出来ました。

約 20kg の芋を種芋用に、ハウス内に保存しました。



掘り出されたサつま芋と蔓

その他、落花生、大根、長ネギ、白菜、大カブなどの収穫を行いました。

3. その他

- (1) ビニールハウスの補修、農道の補修など。(11月、12月)
- (2) 地主さん宅に、さつま芋やカブの千枚漬などを届ける。(11月、12月)
- (3) 畑の寒起こしを始める。(2015年1月～)

戸渡農作業

1. そば刈と脱穀

平成 26 年 10 月 20 日 (月) 曇 9:00~14:30
参加者本会員 6 名、フクシマ環境未来基地 2 名



そば刈始めに実の付具合を見てまわる (洗い顔だ)



脱穀作業 (実が少ない、短時間で終了)

今年の作況指数は点数の付けようも無い不作でした。台風で壊滅状態だった昨年同様の状態でした。

今年は各地でも不作と聞きましたが、それにしても手入れが行き届かなく雑草に負けた事が主因であると思われます。

収穫祭は大変貴重なソバになるでしょう。

2. 大根の収穫

第 1 回大根の収穫

収穫日 平成 26 年 11 月 14 日 (金)

アオクビ大根と丸大根を軽トラ 1 台に収穫しました。

11 月 16 日 (日) に開催された、ろうきん森の学校の参加者に、次回の種代の原価料金で協力して頂きました。

好間冬水田んぼ

脱穀作業 (コシヒカリ)

実施 平成 26 年 10 月 20 日 (月) 曇 9~12
参加者 本会員 3 名

作柄は例年並みでした。

今回は、行事が立て込んで脱穀作業は参加者が少なく、地主の木田様には大変お世話になりました。

プログラム勉強会グループ活動

佐藤 烈

仕事を辞め半年たってようやく時間をコントロールできるようになると、いろいろと自分で試したくなります。

今回は、スズメバチトラップを自作し、試したことを書いてみました。

10月20日に2ℓのペットボトルを使いトラップをつくりました。

中に入れたのは氷砂糖 40g を 100cc に溶かしたものと市販のブドウジュースとリンゴジュース 50cc です。

これをよく蜂が集まる庭のミズナラの幼木にぶら下げました。

その結果 20 日ほどで 20 匹を超えるスズメバチが捕獲できました。その大きさは 2.7 cm～5 cm 他に蛾や甲虫も多く捕獲されました。

春には更に効果的なトラップを目指してみたいと思っています。

1.いわき市立小学校学習支援活動

(10/1～12/28)

月/日	小学校名	学年	学 習	参 加 者	支 援 者
10/2	小川小	1	生活科	26	7
10/8	綴小	全	森林環境	84	11
10/9	平第 6 小	3	総合学習	57	11
10/16	小川小	1	生活科	25	9
10/23	錦東小	1	生活科	23	9
10/24	上遠野小	3	総合学習	24	7
10/24	上遠野小	1	生活科	29	7
10/28	川部小	4	総合学習	19	6
10/30	川部小	1.2	生活科	37	5
10/31	江名小	3.4	森林環境	39	7
11/5	錦東小	1	生活科	53	7
11/12	江名小	1	生活科	17	7
11/13	中央台北	4	総合学習	78	7
11/18	上遠野小	3	総合学習	33	5
11/19	江名小	2	生活科	13	5
11/20	上遠野小	4	総合学習	33	7
11/26	江名小	1	生活科	36	6
12/3	江名小	2	生活科	30	6
12/4	平第 6 小	3	総合学習	57	8
12/11	錦東小	3	総合学習	21	7
8校 20回		—	—	294	54

学習支援 8 校のうち上遠野小学校 1 年生の生活科学習と錦東小学校 3 年生の総合学習支援について以下にまとめてみました。

○上遠野小学校 1 年生 (H26.10.24)

1 年生の生活科で昔からの遊びをしてみよとのテーマで授業を考えているものの昔からの遊びを教えられる大人がいないことで、本会に依頼がありました。

遊びのメニューはお手玉、けん玉、おはじき、だるま落とし、木のこま、あやとり、めんこ、ビー玉です。

当日は、支援する我々も 60 年ほど前を思い出しながら、はじめは苦労していたようですが、だんだんコツを思い出し子供にそのコツを教えていました。子供も、あまりなじみのない遊びでしたが、夢中になりあっという間の 1 時間でした。

○錦東小学校 3 年生 (H26.12.11)

校庭内の樹木の観察をはじめて 4 回目です。

今回はこれまで観察した「班の木」が冬を迎え、どう変わったか。葉の様子はどうか、また落葉めくりをし、その下の土壌に注目してみました。その行動を追いかけてみました。

4 回目の観察なので子供たちも、いろいろなものによく気が付くようになったのがわかります。

また今回は通常の総合学習に加えて、環境省からの委託を受けて ESD 環境教育モデルプログラムを作成し、実証するという内容も付け加えて行いました。

その内容は、鮫川（上流は支流の四時川）の上流部、中流部そして河口部の水の調査、河床部の砂の標本作成、それに土壌の保水性と吸着能の実験です。

子供たちは、目を輝かせ積極的にこれらの実験に取り組んでいました。



砂の標本づくり

2.その他の支援活動（10月～12月）

(1) いわき明星大学の自然体験プログラム 研修会支援

実施月日 10/4,10/11,10/18,11/8
参加者（延） 15名
支援者（延） 31名

(2)いわき明星大学の学校林の管理及び整備支援

実施月日 10/10,10/17,11/7,11/14,11/21
支援者（延） 14名

(3)筑波大学大学院生命環境科学科 植生調査支援（湯ノ岳の杉・桧植生調査）

実施月日 11/9,12/19,12/23（4日）
調査者 2名 2名 3名（7名）
支援者 1名 1名 1名（3名）

(4)土曜学習推進モデル事業の支援

（筑波大学がいわき市から受託した同事業について、
筑波大学から要請により支援したものです）

つくるぞ！光るどろだんご

目標：粘土について興味を持ってしらべる
実施月日 12/20（土）中央台南小学校
参加児童 65名
筑波大学 3名
支援者 当会より13名



土曜学習・つくるぞ光るどろだんご

冬のおくりものキャンプの支援

（子どもが自然と遊ぶ楽校ネット主催）

実施月日 12/23～12/25（2泊3日）
場所 湯ノ岳山荘
参加者 24名（県内小学生児童）
主催者 5名（楽校ネット）
支援者 6名（本会員）

ろうきん森の学校 若森秀樹

（平成26年10月～平成27年1月）

1.平成26年10月19日（日）（晴）

1.実施内容

①自然観察会、②キノコの採集（勉強会）
③野外料理体験

2.参加者 22名。

3.実施結果

①②.自然観察会（キノコ採集を含めて）

参加者を2班編成として、湯ノ岳山荘フィールドと丸山公園西側の森に観察にはいりました。ヤマウルシが紅葉始めた森に入りキノコを探しながら観察しました。

キノコは例年より極端に少なくほとんど出会いません。今年は残念ながらキノコは期待出来なと思います。

採集したキノコの数と同定について



理事長による同定作業

採取キノコ12種。同定キノコはハカワラダケ、ニガクリダケ、オオヒメノカサ、イグチ、エノキダケ、サルノコシカケ、フウセンダケの仲間と7種のみでした。

③.野外料理体験

1)キノコ料理（キノコご飯・キノコ汁・ナメコおろし）。料理に使用したキノコは、ハタケシメジ、マイタケ、ヒラタケ、シイタケ、ナメコとキノコ班が管理栽培したキノコです。

2)おこのみ焼き

山荘特製お好み焼きを楽しみました。

（今年、キノコが少なくほとんど出会いません。台風18・19号と日本列島に上陸し各地に大きな被害をもたらした。いわきの山にも雨は降ったと思っていましたが、林床は乾燥、山肌は堅く感じられました。そして、キノコの出来る山には感じられませんでした）。

2.平成 26 年 11 月 16 日（日）（晴）

1.実施内容

- ①自然観察会：季節を楽しむ里山の散策。
- ②森林療法体験：森の素晴らしさを体験しよう。
- ③野外料理体験：野菜の石窯焼き、蕎麦粉のお焼き。

2.参加者 36名。

3.実施結果

今回は、ろうきん森の学校初体験の親子が多数参加され、賑やかな森の学校になりました。

① 自然観察会

爽やかな秋晴れの光を浴び、紅葉の始まった森を歩きました。途中アリジゴクの観察や草笛の作り方を勉強、虫や草笛の音を楽しみました。



里山観察前に（ろうきん森の学校入口にて）

② 森林療法体験

セラピー広場で横になり目を閉じ森林療法体験。



森林療法体験スナップ

③ 野外料理体験

色々な野菜をアルミでくるみ、石窯で焼きました。一番人気はやはりサツマイモ。でも、玉ねぎ焼きも大好評。

自家栽培のそば粉のおやきを焼きました。お待ちかねの昼食。キノコづくしのごはん、味噌汁、煮物等々。

3.平成 26 年 12 月 21 日（日）（晴）

1.実施内容

- ①自然観察会、②ソバ打ち体験③野外料理体験

2.参加者 32名。

3.実施結果

①自然観察会

冬芽や昆虫の冬籠りなど初冬の里山を観察しました。



冬芽の特徴を観察

②ソバ打ち体験

本会のソバ打ち名人6名が（古川、武田、池野上、寒風澤、佐々木、横田）一斉にソバ打ちの光景はソバ打ち大会を思わせるようでした。



ソバ打ち風景



ソバ味は茹で加減が命と大忙しの舞台裏

③野外料理体験

石窯で野菜（サツマ芋、タマネギ等）の焼き料理を行いました。

4.平成27年1月18日（日）（晴）

1.実施内容

- ①自然観察会：花炭づくりの原料採取を兼ね、大人と子供組に別れて、冬の森を歩きました。
- ②花炭作り体験：あいにくの強風のため、初めて石窯で花炭を焼いてみました。
- ③野外料理体験：目玉料理は、アサリの炊き込みご飯とお好み焼きでした。

2.参加者 30名（三歳から小学一年のお母さん方が参加し、子供を中心に賑やかな会でした。

3.実施結果スナップ

自然観察



子供組森の学校入口で（3回連続参加の子もおります）



石窯の前で（子供は風の子元気な子）



花炭の焼き具合を確認（結構きれいに焼けて一安心）
樹木の枝も折れる強風でした、事故も無く終えることが出来ました。

湯ノ岳山荘の一部をリフォーム

池野上幸弘

1. リフォーム箇所

- ①受付事務所の床の張替え(平成26年10月)。
- ②旧館と新館を結ぶ階段通路の屋根と壁の塗装。(平成26年11月)
- ③研修室前の広縁と森の工房の広縁の塗装。(平成26年11月)
- ④管理人室の壁と天井、及び管理人室入口の天井の塗装。(平成26年11月)
- ⑤炭小屋(小)の屋根の張替。(平成27年1月)

2. リフォーム内容説明

リフォームに当たり、材料代等は林務課及び当会で支出し、作業は足場掛け等の特別の資材等を使用する作業を除き、費用を安くするために当会の会員が行いました。作業時間は1日最大で3～4時間で、通常は2時間程度です。

① 受付事務所の床の張替え。

床材のジュータンが擦れ切れて下地のコンクリートが広い範囲で表に出ていて、冬にはストーブをつけても足元から冷気が伝わってなかなか温まらない状態でした。

10月2日より13日までの間にジュータン剥がしや、備品の移動等の床貼り準備作業を4日間で行い14日～16日に管理人4人と松崎理事長計5人でフローリング貼りをしました。机やローカー等も配置換えをしたり入替えたりして受付事務所はすっかりイメージチェンジしました。

② 館と新館を結ぶ階段通路の屋根と壁の塗装。

屋根はトタンでサビが目立ち、このままにしておくと穴があいてしまう心配がありました。作業の安全性上、林務課にお願いし足場を組んでもらいました。

塗装事前準備のサビ落としや壁の水洗いに平成14年10月23日より5日程かけ、11月2日から11月30日までの間の23日間で塗装作業を終えました。

現役の時塗装を仕事にしていた「林勝義さん」が中心となり、「松本學さん」が準備段階から塗装初期までサポートして行いました。屋根も壁も見違えるようにきれいになりました。



屋根塗装のため足場組み立てた

③研修室前の広縁と森の工房の広縁の塗装。

塗装のプロの「林勝義さん」から手ほどきを受けた「松本學さん」が11月上旬、中旬に作業しました。

新人とは思えないで出来栄で、気持ち良く広縁が使えるようになりました。

④管理人室の壁と天井、及び管理人室入口の天井の塗装。

薄汚れたダークブルーの天井と壁を、明るいベージュ色に塗り替えました。同時に剥がれかかった壁の補修も行い、居心地の良い場所になりました。(作業：林勝義さん)

⑤炭小屋(小)の屋根の張替え

平成17年12月18日に初火入れをした炭窯(小)の屋根が止めている釘の腐食により一部はがれてしまったので、ポリカーボネートで屋根を全部拭き替えました。平成27年1月7日に整備班3名(伊藤貞夫さん、吉田英治さん、横田武雄さん)で作業しました。

3. 謝辞

塗装作業は平成26年10月下旬より12月中旬までの長期間になりました。

塗装作業の中心となった「林勝義さん」は奥さんが入院中でその看病の合間をみての作業でした。

12月には寒さで手がかじかむことも有ったでしょう。

あらためてお礼を申し上げます。

海岸防災林シンポジウム

(次世代に引き継ぐ海岸林)

日時 平成26年11月21日(金)13~15時
会場 いわき芸術文化交流館アリオス小劇場
主催 公益社団法人福島県森林林業緑化協会
基調講演「これからの海岸林に求められるもの」
講演(独) 森林総合研究所東北支所地域研究監
坂本知己氏

海岸林が作られた歴史や役割、新たな価値について。今回の津波災害を受けた現状を分析されこれからの海岸林についての講演でした。

パネルディスカッション

○コーディネーター 坂本知己氏

○パネラー

松崎和敬 本会理事長

佐藤忠継氏：緑地創造研究会委員(海岸防災林)

高木長吉氏：下大越共有山林組合 組合長

中澤文彦氏：磐城森林管理署 署長



パネルディスカッション風景

○松崎理事長の発表発言要旨について。

1. 「震災前の取組み」について

「ふれあいの森における森林整備等の活動に関する協定」に2003年から参入、松食い虫の被害箇所の再生と植樹や下刈りを実施してきた。

2. 「震災後の取組み」について

NPO トチギ環境未来基地より津波被災海岸林再生活動を協働で2012年6月から「苗木 for いわき」プロジェクトをスタートさせた。

(1) 2012年6月~2014年9月の実績。

・海岸林再生整備参加人員 2,071名・植樹本数 4,000本、寄付金は4,115千円となっている。

(2) 安全を最優先・参加して楽しい整備作業を求めている活動と新規の指導者の育成に努めている。

(3) 今後の課題

長期(10年以上)の事業となり、地元の人材の確保や活動資金の確保が課題となる。

地盤沈下による地下水位の関係で強い海岸防災林に成長に不安がある。また、福島県が推進中の防災緑地への対応も考えていきたい。

「森林づくり活動ワークショップ」

森林ボランティア等による森づくり活動をテーマにいわき市労働福祉会館で開催されました。県では、森づくりの活動の今後のあり方を見て、森づくりの推進に活かして行く目的で開催され本会より12名参加しました。

事務局 福島県森林保全課

開催日時 平成27年1月16日(金)

12:45~14:45

事例の発表

○講師挨拶：谷本丈夫 宇都宮大学名誉教授挨拶要旨、福島県は全国に先がけ森林環境税を導入、森づくり活動を推進してきた。震災後大きく変化してしまった。今後の森林づくりの意見等ワークショップで頂きたい。



事例発表

○松崎和敬本会理事長発表要旨。

本会の設立の経過と活動の状況について、震災後の活動（海岸林の再生・プロ野球の森整備）を含めて報告。現在の問題点として、会員の高齢化（若い人が森林ボランティアに入る方が少ない）と海岸林の再生にいわき市民の参加が少ない等が挙げられた。

○平子作麿ふくしま・グリーンフォレスターの会会長発表要旨。

福島県から認定された方々で結成された会で「森林づくりの安全技能集団」で日頃技術と安全向上につとめている。

○松崎正信いわき市森林組合参事発表要旨。民有林の森林づくり、「みずほの森プロジェクト」の植栽活動について発表された。

グループ討議：テーマ

「地域ボランティアによるもりづくり活動」参加者4グループとし①地域における森林に関わる活動の事例。②森林づくり活動を進めるにあたっての課題③解決策について討議し発表した。

講評 谷本先生

森林づくりのボランティア活動は、現在の森林から将来どのような森林とするか、目的を明確にする。

そして、何を実施するのか。どのようにして行くのか、行動の目的も明確にする必要あり。また、森林づくりの情報のつながりが大事であることのアドバイスがありました。

ふくしま被災地まち物語東京7DAYS

3月7日、8日、14日、15日の4日間東京お茶の水駅近くの労働金庫会館において開催されます。

主催は広島まち物語制作委員会で、3年間で作成した紙芝居（100本以上制作）の公演を含め、福島の状態について報告する催しです。

本会では、3月14日のいわきの日と3月15日の広島・福島の日協力団体として取組むことになります。

チラシ等が出来ましたらお知らせしますが東京の知人等へ周知いただきたいと思います。

編集後記

明けましておめでとうございます

今年も宜しくお願い致します。

今回からカラー印刷で発行できるようになりました、如何でしょう。これから内容も充実させたいと思っております、皆様のご協力宜しくお願い致します。

今日1月20日は大寒です、1年で一番寒い時期です、皆さん寒さに負けないよう健康に留意してください。（伊藤）

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会
(発行責任者) 松崎和敬 (編集担当者) 伊藤貞夫
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP:http://iwaki-mori.Jimdo.com/